



報道関係者 各位

平成 26 年 7 月 31 日

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課

課長 廣瀬 滋樹

課長補佐 武井 亜起夫（内線 7471）

計析第一係（内線 7470）

（代表電話） 03（5253）1111

（直通電話） 03（3595）2812

平成 25 年簡易生命表の概況

厚生労働省では、このほど、「平成 25 年簡易生命表」の概況を取りまとめましたので公表します。

「平成 25 年簡易生命表」は、日本にいる日本人について、平成 25 年 1 年間の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の人が 1 年以内に死亡する確率や、平均してあと何年生きられるかという期待値などを、死亡率や平均余命などの指標によって表したものです。

0 歳の平均余命である「平均寿命」は、すべての年齢の死亡状況を集約したものとなっており、保健福祉水準を総合的に示す指標です。

日本の生命表として、厚生労働省では、「完全生命表」と「簡易生命表」の 2 種類を作成・公表していますが、「完全生命表」は、国勢調査による人口（確定数）と人口動態統計（確定数）による死亡数、出生数を基に 5 年に 1 度作成し、「簡易生命表」は、人口推計などによる人口と人口動態統計月報年計（概数）による死亡数、出生数を基に毎年作成しています。

【結果のポイント】

- ・男性の平均寿命は 80.21 年とはじめて 80 年を超え、過去最高（平成 24 年の 79.94 年）を更新した（2 頁）。
- ・女性の平均寿命は 86.61 年となり、過去最高（平成 21 年の 86.44 年）を更新した（2 頁）。
- ・国別に平均寿命をみると、厚生労働省が調査した中では、日本は男性、女性とも世界でトップクラスとなっている（4 頁）。

※詳細は、別紙概況をご参照ください。